

社会資本総合整備計画（市街地整備） 事後評価書

平成 27 年 8 月 31 日

計画の名称	1 安全で安心・快適な市街地整備の推進																
計画の期間	平成22年度～平成26年度（5年間）					交付対象	市川市										
計画の目標	安全で安心・快適な市街地の整備を推進するため、大雨による浸水被害を解消するとともに、公園等の緑化空間の整備等を推進する。																
計画の成果目標（定量的指標）	<ul style="list-style-type: none"> 概ね7.5年に1回程度発生すると予想される規模の降雨を安全に流下させるため、大柏川の河川整備を行うことにより、大柏川流域における1/7.5降雨で浸水する恐れのある区域（面積9.9ha）を解消する。 市民一人当たりの緑地環境整備面積を3.07㎡/人から3.22㎡/人に増加させる。 																
定量的指標の定義及び算定式									定量的指標の現況値及び目標値			備考					
									当初現況値 (H22当初)	中間目標値 (H24末)	最終目標値 (H26末)						
①	概ね7.5年に1回程度発生すると予想される規模の降雨での市内大柏川流域における浸水する恐れのある区域の面積 (ha)								9.9ha	-	6.6ha	H25より「災害に強い千葉県の河川整備の推進（水の安全・安心基盤整備計画）」へ移行					
②	一人当たりの緑地環境整備面積 = { (都市公園等面積) + (特別緑地保全地区等内買入公開地面積) + (市民緑地等内施設整備済公開地面積) - (前3項の重複面積) } ÷ 常住人口 (㎡/人)								3.07㎡/人	-	3.22㎡/人						
全体事業費	合計 (A+B+C)	3,295百万円	A	3,295百万円	B	0百万円	C	0百万円	効果促進事業費の割合 C / (A+B+C)		0.0%						
事後評価																	
○事後評価の実施体制、実施時期																	
事後評価の実施体制						事後評価の実施時期											
・市川市にて実施。						<ul style="list-style-type: none"> 平成27年7月 公表の方法 市川市公式Webサイト 											
1. 交付対象事業の進捗状況																	
交付対象事業																	
A 基幹事業																	
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	道路種別	省略工種	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市町村名	事業実施期間（年度）					全体事業費 (百万円)	備考
											H22	H23	H24	H25	H26		
1-A-1	河川	一般	市川市	直接	市川市	都市基盤1	改修	大柏川下水道関連特定治水施設整備事業	護岸等(L=0.2km)	市川市						258	
1-A-2	公園	一般	市川市	直接	市川市	-	-	都市公園事業(北国分第5緑地)	都市緑地1箇所 0.2ha	市川市						269	
1-A-3	公園	一般	市川市	直接	市川市	-	-	市川市吸収源対策公園緑地事業	地区公園等11箇所 17.9ha	市川市						2,768	
合計																3,295	
B 関連社会資本整備事業																	
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	省略工種	要素となる事業名	事業内容 (延長・面積等)	市町村名 港湾・地区名	事業実施期間（年度）					全体事業費 (百万円)	備考	
										H22	H23	H24	H25	H26			
合計																	
C 効果促進事業																	
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	省略工種	要素となる事業名	事業内容	市町村名 港湾・地区名	事業実施期間（年度）					全体事業費 (百万円)	備考	
										H22	H23	H24	H25	H26			
合計																	

2. 事業効果の発現状況、目標値の達成状況					
I 定量的指標に関連する 交付対象事業の効果の発現状況		<ul style="list-style-type: none"> ・ 基幹事業である市川市吸収源対策公園緑地事業（1-A-3）において、事業箇所である都市公園11箇所の内、4箇所の整備が完了し、約3haを開設した。 （内訳：稲荷木2丁目公園0.1ha、大野町4丁目公園0.1ha、国府台緑地の一部0.5ha、国分川調節池緑地の一部2.3ha） ・ 上記のほか、市単独事業において、都市公園18箇所の整備が完了し、約11haを開設した。 			
II 定量的指標の達成状況	指標①（市内大 柏川流域におけ る浸水する恐れ のある区域の面 積）	最終目標値	6.6ha	目標値と実績値 に差が出た要因	<ul style="list-style-type: none"> ・（H25より「災害に強い千葉県の河川整備の推進（水の安全・安心基盤整備計画）」へ移行）
		最終実績値	—		
	指標②（一人当 たりの緑地環境 整備面積）	最終目標値	3.22㎡/人	目標値と実績値 に差が出た要因	
		最終実績値	3.25㎡/人		
III 定量的指標以外の交付対象事業の効果の発現状況 （必要に応じて記述）		<ul style="list-style-type: none"> ・ 基幹事業である市川市吸収源対策公園緑地事業（1-A-3）で新設した国分川調節池緑地は、公園内に設置された多目的広場が市川市社会人サッカーリーグの試合会場として利用される等、地域のスポーツ拠点として活用されている。 ・ また、国分川調節池緑地では、近隣住民や施設利用者による草刈等が行われ、市民ボランティア活動の促進が図られた。 			
3. 特記事項（今後の方針等）					
<ul style="list-style-type: none"> ・ 計画期間中に整備が完了しなかった事業箇所があるので、当該箇所については、引き続き事業を継続する。 ・ 次期社会資本総合整備計画では、新規都市公園の整備を進めることにより、市民1人当りの緑地環境整備面積の増加を目指すと共に、老朽化が進む既存都市公園の公園施設の改築、更新を図る。 					

(参考図面) 市街地整備

計画の名称	1 安全で安心・快適な市街地整備の推進	交付対象	市川市
計画の期間	平成22年度 ~ 平成26年度 (5年間)		

